

近藤潤治郎

こんどう じゆんぢろう

漢文學者。明治十八年二月十八日新潟縣ニ高郡

關原村生れ、

昭和二十年二月一日歿（八五—九五）。號膠堂。歴任長

岡中學校を經て、明治四十二年早稻田大學高等師範部國語漢文科卒。

教職の傍ら古城貞吉の門に入り、「禮記注疏」の會讀を兩來二十餘年

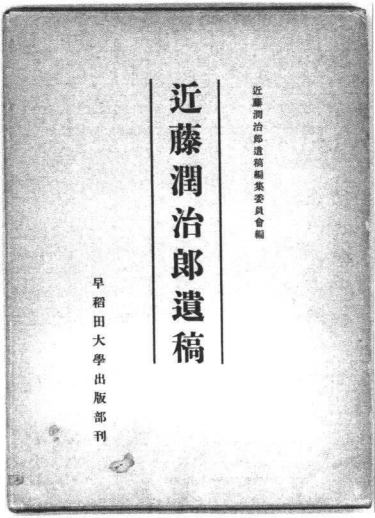
續ける。昭和七年師の紹介で、川田麓江の始めた文會廻瀾社に入り會

年誌『廻瀾集』（全七輯、特號一冊、昭和二年—十八年刊）に計

十一篇を掲載。早稻田大學教授。

著書に、『支那文學史』（昭和五年刊）、『近藤潤治郎遺稿』（近藤潤

治郎遺稿編集委員會編、昭和二十年十一月、早稻田大學出版部）。



近藤潤治郎遺稿

近藤潤治郎遺稿編集委員會編

早稻田大學出版部刊